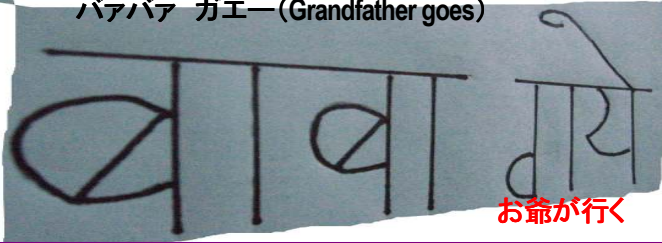


バアバア ガエー (Grandfather goes)



お爺が行く

書画作成  
Nidhi Gupta

インド福祉村協会 (IWVS)

<http://iwvs.web.infoseek.co.jp>

現地 PM 加藤 伸也

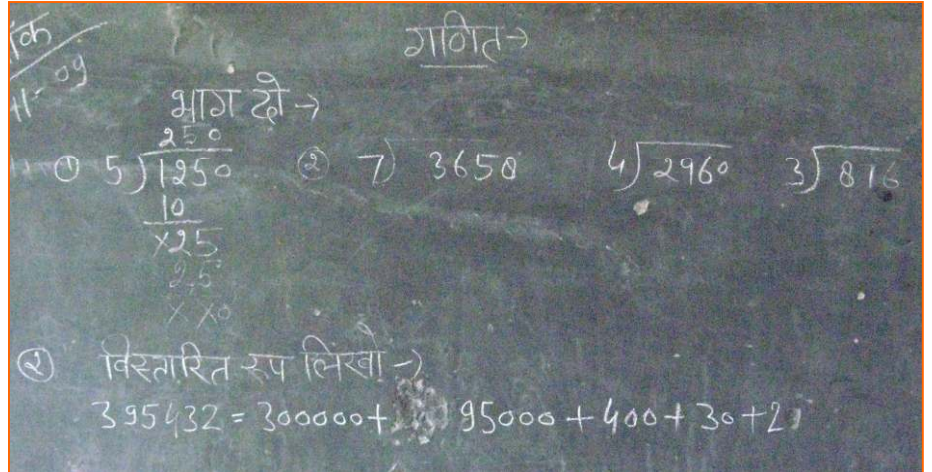
2009年11月18日 発行 第24号

JICA 草の根支援協力

「保健衛生と人材育成」事業 実施中

2007年9月～2010年8月

◎ 学校でのある授業 ◎ 算数の時間



見たところ5、6年生でしょうか、算数をやっていました。先生は一人しかいなくて、自習のような形です。

机もなく、布を引いて勉強をしています。チョークも薄いのか、かろうじて見えます。(よくできました!)  
世界共通ですか?、算数の解き方は……。足し算はコンピューター的な(「=x+b+f+g」と式は書きます)書き方ですね。

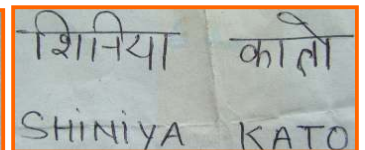
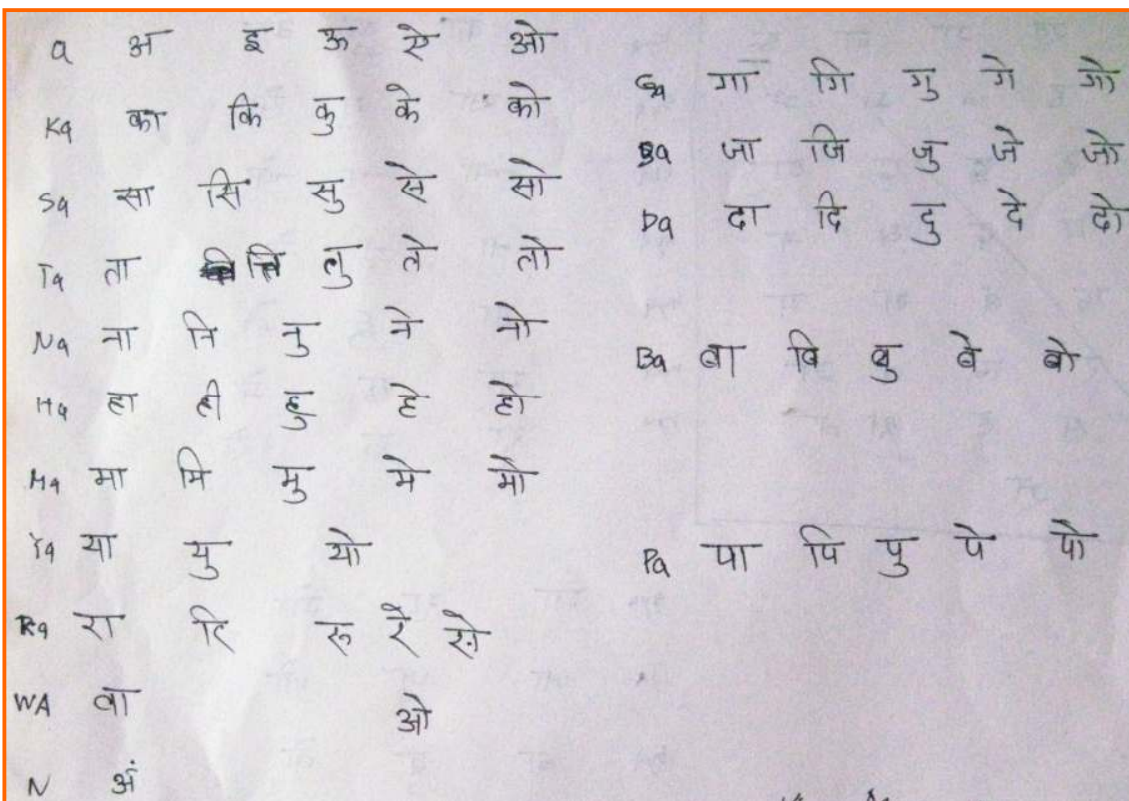
算数のつながりとして、数字にまつわる記事を書きましたが、次回に回します。

◎ インドの国語 ◎ 本当に「住んで、見て、聞いて」初めて世界が分かるものですね。

スタッフに日本語を教えていました。スタッフが「Same」と言って書いてくれました。ヒンディ語の「あ～ん」行の並びです。左端に「a～N」と書いてあります。真ん中は「濁音」等の「Ga～Pa」です。別のスタッフに呼んで貰いました。

なんと、なんと、日本語発音です。

「Kya～Rya」、「Gya～Pya」も同じでした。この【日本語】で私の名前を書いてくれました。



日本語を教えるときはこの【日本語】で教えています。

言葉で教えると少々違いますがこの【日本語】だと威力抜群です。ヒンディ語の【日本語】はエライ!

なるほどな  
【日本語】でした。